

もりもり通信

特別号



相模原市議会議員(中央区・無所属) 森しげゆき 活動レポート

森議員、高齢者福祉政策に新たな提案 ～『軽度認知症早期発見装置の導入』など～ (相模原市議会6月定例会議・一般質問報告)

高齢者福祉政策について

1. 軽度認知症(MCI)早期発見と対策について

森 : 先進自治体で効果を発揮しているタッチパネル式の「認知症スクリーニング機器」を使って、MCIと呼ばれる軽度認知症の早期発見から予防や治療につなげる取組を進めると、高齢者が健康で暮らせるとともに、介護保険費や医療費の負担が削減される効果がある。相模原市も多くの市民に積極的に参加してもらうような取組を進めたらどうかと考えるが市長の見解は？

市長 : 市民の方が、自ら手軽にチェックができる仕組みについては、認知症の早期発見に一定の効果が期待できることから、先進事例なども踏まえ、検討していきたい。

2. 認知症サポーターキャラバン事業について

森 : 認知症サポーターキャラバン事業は、市民の皆さんが認知症に対して理解を深め、地域で認知症を見守る事業として重要であり、私自身もサポーター登録をしている。今後、認知症サポーターの養成をさらに拡大していく必要があると思うが考えは？

市長 : 今後は、企業等における養成講座の実施を積極的に働きかけるなど、認知症サポーター養成の増員を図っていく。

3. ひとり暮らし高齢者へのインフォーマルサービスについて

森 : 高齢化が進む中で、ひとり暮らし高齢者の方々にも安心して暮らしていただくためには、例えば昔の御用聞きのように、日ごろからご自宅を訪問し、生活相談や体調の変化を見守るといった体制の整備が必要と考える。相模原市もこうしたインフォーマルサービス事業を支援し促進していく考えはないかについて伺う。



市長：ひとり暮らし高齢者の増加と多様化するニーズに対応するためには、民間事業者が提供する多様なサービスの活用を図ることも重要であり、高齢者のニーズと様々な民間のサービスの結びつきを図るなど、地域全体で高齢者を支える体制を構築していきたい。

4. 高齢者の交通事故防止の取り組みについて

森：高齢者が車を運転中に、アクセルとブレーキを間違えて大きな事故になってしまうという報道をよく耳にする。高齢者が自主的に運転免許証を返納する制度がある、相模原市内の返納している実態を伺うとともに、交通事故防止の観点から、返納を積極的に促進する取り組みをすべきだが考えは？

市長：本市では、平成25年に541人の方が、「運転の必要がなくなった」、「身体機能の低下を自覚した」などの理由により、運転免許証を返納された。運転免許証を自主的に返納していただくことは、交通事故の削減に一定の効果があるので、制度の周知を図っている。今後も、交通安全教室のほか、高齢者の参加が多く見込まれる様々な機会を捉え、更なる周知に努めていく。

高齢者政策について総括しての提言

タッチパネル式のスクリーニング機器を導入して、軽度認知症の早期発見・早期治療を提案した。認知症患者が減れば、市の財政的には介護保険費も医療費も削減され、市民の皆さんは認知症を未然に防いで元気に過ごせる。みんなが幸せになる取り組みで、今後とも積極的に推進する。認知症サポーターキャラバン事業について、キャラバンメイトが講座を開いて、サポーターを養成する環境づくりに、市が積極的に支援する取り組みが必要だと提言する。一人暮らし高齢者は住み慣れた家で、いつまでも安心して暮らしたいという理想を持っており、フォーマルサービスとして行うべきは、判断能力が低下しながらも弱者が自宅で暮らし続けられる仕組み作りである。その人たちがどのように暮らし続けたいのか、どのようなニーズがどの程度あるのか。仕組み作りに必要な基本調査を行い、民間団体と連携したインフォーマルサービスを期待する。運転免許証の返納制度については、買い物や通院など、日常の足として使っていた自動車を運転できない不便さから、運転免許証の返納を躊躇している場合が多く、運転免許証を返納した人には、公共交通機関を利用しやすくするためにバス割引券の交付や、地元商店会との連携により、買い物割引券を交付するなどの取組みをすべき。

【その他の質問】

・以前、市の政策形成の中に、次世代を担う中学生・高校生の貴重な意見を取り入れるしくみを作るべきだと提言し、市長から「ジュニア・市政モニター制度」の導入を検討すると回答があったが、現在の取組状況を確認。

→ 今年度から市内の公立高校中学校全校で実施すると回答

・子ども・子育て支援新制度について、保育園・幼稚園を利用している市民が新しい制度を理解するためには、保育料の変動も含めて丁寧な説明が必要だ。また、制度変更に伴い施設の形態を変更する幼稚園経営者が、的確な判断ができるような相談体制の強化を求める。

→ 制度周知を含めて、しっかりと対応していくと回答

※一般質問の内容紹介は、一部です。詳しくは相模原市議会HPより検索してください。

森しげゆき議員、8年間の政策と実績

森しげゆき議員の二期目の任期も、あと半年となりました。今回の議会報告の中で、これまでの議会活動を総括し報告させていただきます。

《議会改革》

H24年度～議会改革検討会副委員長として、本会議での一問一答制の導入や質問席の設置を進めるとともに、議会基本条例特別委員会を設けるなど議会改革に尽力。また、議員定数については大幅削減を目指す。

《新たな財源確保策》

H19年に、市有公共施設において民間企業に命名権を与え広告収入を得る取り組みとして、相模原初の『ネーミングライツ』導入を提案。5年目に実現し、現在は市内の4施設で実施し、公共施設の整備費用等に活用されている。

《シティーセールス》

- ・相模原を活性化するイベントの提案。H21年に相模原初の『らーめんグランプリ』、『スイーツフェスティバル』を提案。2年後に実現し、現在も続いており、今後とも市外へのイベントの拡大を提言。
- ・全国に誇れる新たな「相模原銘菓」づくりを提言。現在実施検討中。
- ・年間を通して提供できる新たな農産物の創出を提案
- ・宇宙・はやぶさをイメージするテーマパークの誘致を提案。

《産業振興・観光振興》

- ・新たな産業用地の創出と、研究開発拠点の誘致を提案。
- ・業務系企業（金融や保険）の本社機能の誘致やホテルの誘致を提言。
- ・道の駅設置を提案（農産物大型直売所の設置となる）
- ・商店街の振興支援や、飲食店の振興強化策を求める。



《市民サービスの向上》

- ・H20年～パスポートセンターの誘致を提言。
H25年に2か所実現。
- ・市内公共施設、市内鉄道駅にw i f i の設置を提案。
- ・新たな斎場、火葬場の設置。他自治体の施設利用の補助制度の新設提案。

《子ども・子育て支援》

- ・保育所待機児童ゼロに向けた取り組み（継続的に実施）
- ・児童虐待防止と児童相談所機能の強化を求める。
- ・児童クラブ待機児童ゼロと、指導員確保策を提言。

《教育政策》

- ・少人数学級、支援級の充実と教職員の加配、不登校の支援を求める。
- ・国の理科支援事業廃止により、市単独の実施を求め実現。

《高齢者福祉政策》

- ・特養老人ホームなど、高齢者福祉施設の待機者ゼロを提言。
- ・介護職員の処遇改善と、人員確保育成支援を求め、一部実現。

《障がい者福祉政策》

- ・障がい者の就労支援と、特例子会社の設置支援を求める。
- ・失語症に対する理解と支援 → 市の後援でセミナーの開催が実現。
- ・ユニバーサルデザインの更なる推進。

《環境対策・エネルギー対策》

- ・再生可能エネルギーの推進 → 太陽光、蓄電池、燃料電池、HEMS等の補助制度が実現。
- ・市民が憩える公園の整備と、自然公園の保護を求める。

《交通問題》

- ・小田急多摩線延伸の早期実現を求める。
- ・バス路線の維持拡大と、コミュニティバス、乗り合いタクシーの充実。
- ・圏央道市内2つのICに『相模原』の名称をつけるよう提案 → 実現
- ・相模線の複線化、すれ違い施設の早期実現を求める。

《防犯・防災対策》

- ・スーパー防犯灯の設置拡大を提言。
振り込め詐欺の防止策強化。
- ・防災拠点としての機能強化と体制整備を求める。地域との連携。

《スポーツ振興》

- ・ホームタウンチームの支援（支援する議員連盟事務局長として活動中）
- ・H19年横山公園陸上競技場再整備を提案 → 現在人工芝への工事中
- ・麻溝公園競技場の整備と、新たなスタジアム整備を8年間継続提案。



掲載した議会活動はほんの一部であり、本会議での提案の他、常任委員会や日常の事務折衝による活動も行っています。
日常の活動は森しげゆき活動ブログ (<http://mori-shige.at.webry.info/>)をご覧ください。

森しげゆきプロフィール

1966年 9月 秋田県男鹿市生まれ 47才
1985年 4月 NEC(日本電気株)入社
2002年12月 連合神奈川・相模原地域連合事務局長
2007年4月 相模原市議会議員 初当選
2011年4月 相模原市議会議員 2期連続当選

議会役職

市議会会派「颯爽(さっそう)の会」 幹事長
環境経済常任委員会 委員長
交通問題特別委員会

家族

妻、長女、長男
現在、相模原市中央区上溝・石橋地区在住



ご意見、ご相談、後援会入会希望
(入会希望者紹介)などお気軽に
ご連絡ください。

森しげゆき後援会 : 042-770-5241

Eメール : mori-shige@mori-shige.jp

HP : <http://www.mori-shige.jp/>

※後援会入会に関して。

- ・会費等は一切かかりません。
- ・定期的に後援会報を郵送いたします。